

# ことのは

一般社団法人沖縄県言語聴覚士会

広報誌

<http://st-okinawa.org>

(平成27年4-5月号) 発行平成28年3月10日



4-5

## Contents

- ・平成27年4月理事会議事録
- ・平成27年度 第4回沖縄県言語聴覚士会  
総会
- ・新人研修報告
- ・「専門講座」～臨床実習の実践～ 参加記
- ・学術大会、研修会情報
- ・県士会より会員の皆様へ
- ・募集

一般社団法人 沖縄県言語聴覚士会  
理事会議事録（平成27年4月）

平成27年4月9日（木）

出席者：久志・岩木・照屋・安谷屋・玉城・伊智・崎原・川満・渡慶次・玉城（慶）・城間・野原

【報告】

1. 学術委員会報告

→平成27年3月27日におもと学院を訪問し、新人研修会を行った。12名の新人が参加。

2. 沖縄県リハビリテーション専門職連絡協議会について

→地域包括ケアシステムについて、人材バンクを作っていく派遣を行っていく。今後はPOS合同の研修を通して人材育成を行っていく。

3. 三士会代表による沖縄県医師会長表敬訪問について

→PT、OT、STの三士会代表で医師会長の訪問を行った。

4. なごみ会会議報告

→各団体の負担金3万5千円は去年と同額。司会は「あいもこ」が司会。ドクターヘリは中止となり、ドクターカーは可能。

5. 平成26年度会費納入率

→3月31日時点で会員207名となっており、納入率は72%となっており、昨年度より納入率は向上している。3割の会員は未納となっている。未納2年で退会となる。

6. 変更登記および事務所移転登記完了について

→4月1日時点で完了となり、事務局も大浜第一病院に変更。

【議題】

1. 学術理事と委員について

→学術局長を岩木香菜子、研修部には玉城慶大、教育部には澤祇悠、学術部には玉城亮を配置しそれぞれの部に委員を配置する。

2. 失語症友の会について

→次回の理事会に持ち越し

3. H27年度予算案最終確認

→別紙にて確認

4. 新年度体制について

→別紙にて確認

5. 総会の役割分担について

→5月17日開催 議長：照屋、司会：安谷屋、懇親会司会：玉城慶大 9時半受付開始 受付は長嶺、安谷屋

6. 訪問リハの地域リハ会議について

→5月21、22日に開催。派遣者は野原（実行委員長）さん

7. 症例発表会のやり方について

→症例発表を行った発表者に対する処遇について。発表者には500円支給、県士会会員以外は加入を促す。

8. 那覇市医師会からの執筆依頼の件について

→公文書添付しており、言語聴覚士からの立場からどういうことを執筆していいのか検討する。

9. 研究会について

→ホームページに記載されている諸規定が更新されておらず、今後は改訂が必要だと考えられる。

【その他】

特になし

・県士会会員 200名（新規会員0名、退会会員0名、変更届0件）平成27年4月9日現在

次回の理事会 6月5日（金） 19：30～ 場所：大浜第一病院

一般社団法人 沖縄県言語聴覚士会  
理事会議事録（平成27年5月）

平成27年5月理事会は平成27年度第4回沖縄県言語聴覚士会総会をもって変更させていただきます

# 報告 平成 27 年度 第 4 回沖縄県言語聴覚士会総会

開催日時：平成 27 年 5 月 17 日 10 時 00 分開会

開催場所：翔南病院リハビリ室

出席会員数：25 名、書面表決状 79 件、合計 104 件

総会員数 200 名、準会員 1 名、賛助会員 0 件（平成 27 年 3 月承認）

## 【議事録】

### 1. 開会あいさつ

副会長 久志紫乃

### 2. 議長選出

立候補なし

推薦 大濱貴之

### 3. 総会議案

#### 第一号議案

平成 26 年度事業報告（事務局長：玉城亮）平成 26 年度総会議案書に基づき、平成 26 年度事業を報告

⇒賛成過半数により承認（質疑等なく承認頂く）

#### 第二号議案

平成 26 年度収支決算及び監査報告（財務担当：照屋究 監事：中原美奈子）平成 26 年度会計報告、監査報告書に基づき、平成 26 年度収支決算を報告

⇒賛成過半数により承認（質疑等なく承認頂く）

#### 第三号議案

平成 27 年度事業計画案報告（事務局：玉城亮）平成 27 年度事業計画に基づき、平成 27 年度事業計画を報告

⇒賛成過半数により承認（質疑等なく承認頂く）

#### 第四号議案

平成 27 年度収支決算案報告（財務局：照屋究）平成 27 年度会計予算案報告に基づき、平成 27 年度会計予算案を報告

⇒賛成過半数により承認（質疑等なく承認頂く）



## 第五号議案

役員変更について（事務局：玉城亮） 一般社団法人沖縄県言語聴覚士会役員選挙の結果、理事および監事の候補者の人数が定数に満たなかったため、規定に基づき、下記の会員を無投票当選とする。

⇒賛成過半数により承認（質疑等なく承認頂く）

### 理事

安谷屋知佳（大浜第一病院）

岩木香菜子（大浜第一病院）

大濱 貴之（沖縄リハビリテーション福祉学院）

川満 春菜（沖縄協同病院）

久志 紫乃（北中城若松病院）

崎原 寿乃（在宅介護サービスひまわり）

城間 啓多（国立病院機構沖縄病院）

玉城 慶大（ちゅうざん病院）

玉城 亮（翔南病院）

照屋 究（リハビリテーションクリニックやまぐち）

渡慶次梨代（琉球大学医学部附属病院）

### 監事

砂川記子（北中城若松病院）

#### 4. 議長降壇

#### 5. 閉会あいさつ

事務局長 玉城

#### 6. 親睦会

進行 玉城慶大

今総会はメール、書面表決状の合計と総会参加者の過半数の賛成をもって承認とする。



## 新人研修報告

平成27年3月27日、国家試験合格発表の日に新人研修を開催しました。

12名の新人が参加し、「日本語聴覚士協会の役割」「生涯学習プログラムについて」「沖縄県言語聴覚士協会の動き」について講義をさせていただきました。

新人STの皆様の真剣な眼差しが大変印象的でした。生涯学習プログラムに関する質問が多く聞かれ、STへの意欲の高さを感じる事ができました。

新人STの皆さん、これからも一緒に頑張りましょう！

大浜第一病院 岩木香菜子



## 「専門講座」～臨床実習の実践～ 参加記

ちゅうざん病院 リハビリテーション部

言語聴覚科 玉城 慶大

平成27年4月19日（日）に、「生涯プログラム 専門講座」である「臨床実習の実践～指導者の役割分担と環境調整～」を受講しました。今回の講座では参加者74名のうち、県外からのST参加もあり、本講座の関心の高さを実感させられました。

今回の講座では、講師の内山量史先生（以下、講師）より所属する春日居サイバーナイフ・リハビリ病院の臨床実習の方法や考え方、職員教育について幅広い内容をお話して頂きました。講師の学生指導経験を踏まえての説明もされており、私の学生時代の臨床実習や言語聴覚士免許を取得して以降の実習指導と比較できました。

講師の病院で実際に行っている実習指導では、当院でも取り入れているクリニカルクラークシップ（CCS）の考えを取り入れており、「参加型臨床実習」で学生に臨床経験を多く体験させる実習形態である事を説明されておりました。CCSを実践している中で私が疑問に感じていた“レポートの在り方”ですが、講師の病院では従来のもものと比べて、学生自身がまとめやすい形式になっており、当院でも活用したいと参考になりました。また、学生と指導者の信頼関係構築が重要であるとのお話もあり、私自身がそれを出来ているかどうか疑問に感じたと同時に、反省させられる点が多くあることを痛感しました。更に、講師の実習指導中のエピソードから、実習生に対して正面から真剣に向き合っている事を感じ、今後の指導に活かそうと思いました。

経験を積んだ ST の中には、日々実習指導を行っている中で、「昔はこうだった」「どうして今の学生は出来ないのか」と悩む事が多いと思います。私自身も多くの悩みを抱えてきました。これまで私自身の実習指導の考えは、「学生は実習の中で、STとしての評価・訓練を“学び・考えて”いき、STがどういうものかを知る。」というものでした。しかし、今回の講座を受講し、“学生が受けたい実習を提供できているか”“学生へSTとしての考え方を語り示すことが出来ているか”を考え、自分自身の「これまで経験した臨床実施」と「学生への臨床実習指導」を振り返る機会を頂きました。講座を拝聴しながら、“試行錯誤しながら取り組む”、“STとして実習生へ熱く語る”ことが、情熱のある新たなSTを誕生させるには大切であることを学びました。

本講座を受講した全てのSTが学生への臨床実習指導にあたり、「学生のひとりでも“指導者のようなSTになりたい”」と思えるような指導が展開できれば、ST全体の更なる発展へと繋がると感じました。そして、私自身も講師や先輩STの先生方のように学生への臨床実習を取り組んでいきたいと思います。

最後に講義をしてくださった講師の内山量史先生ならびに、企画、運営にご尽力して県士会員の先生方に心より感謝を申し上げます。

経験を積んだ ST の中には、日々実習指導を行っている中で、「昔はこうだった」「どうして今の学生は出来ないのか」と悩む事が多いと思います。私自身も多くの悩みを抱えてきました。これまで私自身の実習指導の考えは、

「学生は実習の中で、STとしての評価・訓練を“学び・考えて”いき、STがどういうものかを知る。」というものでした。しかし、今回の講座を受講し、“学生が受けたい実習を提供できているか”“学生へSTとしての考え方を語り示すことが出来ているか”を考え、自分自身の「これまで経験した臨床実施」と「学生への臨床実習指導」を振り返る機会を頂きました。講座を拝聴しながら、“試行錯誤しながら取り組む”、“STとして実習生へ熱く語る”

ことが、情熱のある新たなSTを誕生させるには大切であることを学びました。

本講座を受講した全てのSTが学生への臨床実習指導にあたり、「学生のひとりでも“指導者のようなSTになりたい”」と思えるような指導が展開できれば、ST全体の更なる発展へと繋がると感じました。そして、私自身も講師や先輩STの先生方のように学生への臨床実習を取り組んでいきたいと思います。

最後に講義をしてくださった講師の内山量史先生ならびに、企画、運営にご尽力して県士会員の先生方に心より感謝を申し上げます。



## 学術大会、研修会情報

### 県 外

#### ◆喉頭摘出術リハビリテーションについての集学的アプローチ2015

主催：神戸大学医学部附属病院 耳鼻咽喉・頭頸部外科

日時：2015年6月6日（土）

会場：神戸国際会議場501号会議室

参加費：無料

定員：120名様（申込先着順で定員になり次第締め切らせて頂きます）

申込方法：メールもしくは添付の申し込書を FAX 送信 お問い合わせ： [info.jp@atosmedical.com](mailto:info.jp@atosmedical.com)

#### ◆日本離床研究会主催 第5回全国研修会

日時：平成27年6月20日（土） 9:40より大会貴重講演開始

会場：国立オリンピック記念青少年センター（東京都）

内容：詳細はホームページでご確認ください

受講費：9,800円（税込）

申込み：ホームページよりオンラインで申込み HP: <http://www.rishou.org/>

問合せ：社団法人 日本離床研究会事務局 TEL: 03-3556-5585

#### ◆第16回日本言語聴覚学会 ～臨床力を鍛える～

日時：平成27年6月26日（金）～27日（土）

会場：仙台国際センター

#### ◆苦手を克服！循環機能のアセスメントと早期離床（基礎・評価編）

日時：平成27年6月28日（日） 10:00～16:10

会場：福岡建設会館（福岡市）

講師：徳田雅直先生（大崎病院東京ハートセンター） 受講費：9,800円（税込）

定員：100名 申込み：ホームページよりオンラインで申込み HP: <http://www.rishou.org/>

問合せ：社団法人 日本離床研究会事務局 TEL: 03-3556-5585

#### ◆第4回 日本小児診療多職種研究会

日時：2015年7月19日（日）・20日（祝）

会場：北九州国際会議場 AIM（アジア太平洋インポートマート）3階

西日本総合展示場新館 1階展示場 A、3階会議室

#### ◆第13回日本臨床医療福祉学会

テーマ：先進的地域包括ケア～その地域にふさわしい医療福祉の姿～

日時：平成27年8月27日（木）～29日（土）

会場：27日／ANA クラウンプラザホテルグランコート名古屋

28・29日／名古屋国際会議場

主催：藤田保健衛生大学医療科学部

定員：約1000名（予定） 参加費：事前登録7,000円／当日8,000円



## 県内

### ◆第30回リハ工学カンファレンス in おきなわ

日時：2015年11月13日（金）～15日（日）

会場：沖縄県総合福祉センター

〒903-8603 沖縄県那覇市首里石嶺町4丁目373-1

参加費：協会員・協賛団体員 当日 /13,000円（前納の場合は10,000円）

協会員・協賛団体員 1日参加/5,000円

非会員 当日 /15,000円（前納の場合は13,000円）

非会員 1日参加/6,000円

学生 当日 /6,000円

※詳細は沖縄県言語聴覚士会ホームページの講習会・イベント項目をご覧ください。

～県士会より会員の皆様へ～

### ◆メールに関するお願い◆

現在、研修会や勉強会の案内、県内 ST への協力依頼や求人情報等をメールにて会員の皆様へ配信して

います。ですが、メールアドレスの変更やメールの受信設定により、運営理事より送信したメールが会員の皆

様のところに届かず、宛先不明で返信されるケースが出てきています。お手数ですが氏名・職場名を明記し、

下記アドレスまで変更の連絡をお願いします。また、所属や氏名（女性）の変更についても、ホームページ

より変更届けをダウンロードして頂き、下記への連絡をお願い致します。

**jimu@st-okinawa.org**

メールでの配信に伴い、現在県士会に登録しているメールアドレスが携帯電話の方は、資料のデータ容量が

大きい為に見ることができない可能性があります。その為、パソコンのメールアドレス取得をお願いしたいと

思います。氏名、職場を明記していただき、同上のアドレスへの送信を宜しくお願い致します。ご多忙な事と

は存じますが、御協力の程宜しくお願い致します。

### ◆確認のお願い◆

沖縄県言語聴覚士会のスムーズな運営を図っていく為に、御協力をお願い致します。

- ・県士会からのメールが届いているかの確認（届かない方は、県士会への連絡や受信設定の確認等をお願い致します。）
- ・年会費は納入しているか（周りに未納の方がいらっしゃいましたら、声かけの方を宜しくお願いします。）
- ・変更届け：所属や名前の変更時に、ホームページよりダウンロードして届け出をお願いします。
- ・県士会のホームページの確認（勉強会や研修会の案内、県内外のS Tの動向等、様々な情報が掲載されています。）

## 募 集

- ①広報部では会員の皆様からの投稿記事を募集しています。「ことのは」へ掲載してほしいお知らせや情報がありましたら、まずは広報部までご連絡下さい。
- ②広報部では「ことのは」の表紙に使用する写真や絵、イラストなども募集しています。写真や絵を趣味とされている方や「ぜひ載せてほしい！」という素材をお持ちの方がいらっしゃいましたら、ぜひ広報部までご連絡ください。
- ③「ことのは」は会員の皆様で作りに上げていく広報誌です。誤字や脱字、掲載内容の誤りがございましたら、広報部までご連絡下さい。

連絡先・・・[koho@st-okinawa.org](mailto:koho@st-okinawa.org)

Okinawa Speech-Language-Hearing Therapist Association

一般社団法人 沖縄県言語聴覚士会

<http://st-okinawa.org>

広報部 [koho@st-okinawa.org](mailto:koho@st-okinawa.org)